

令和6年度
医療安全・院内感染対策研修会 (WEBセミナー)

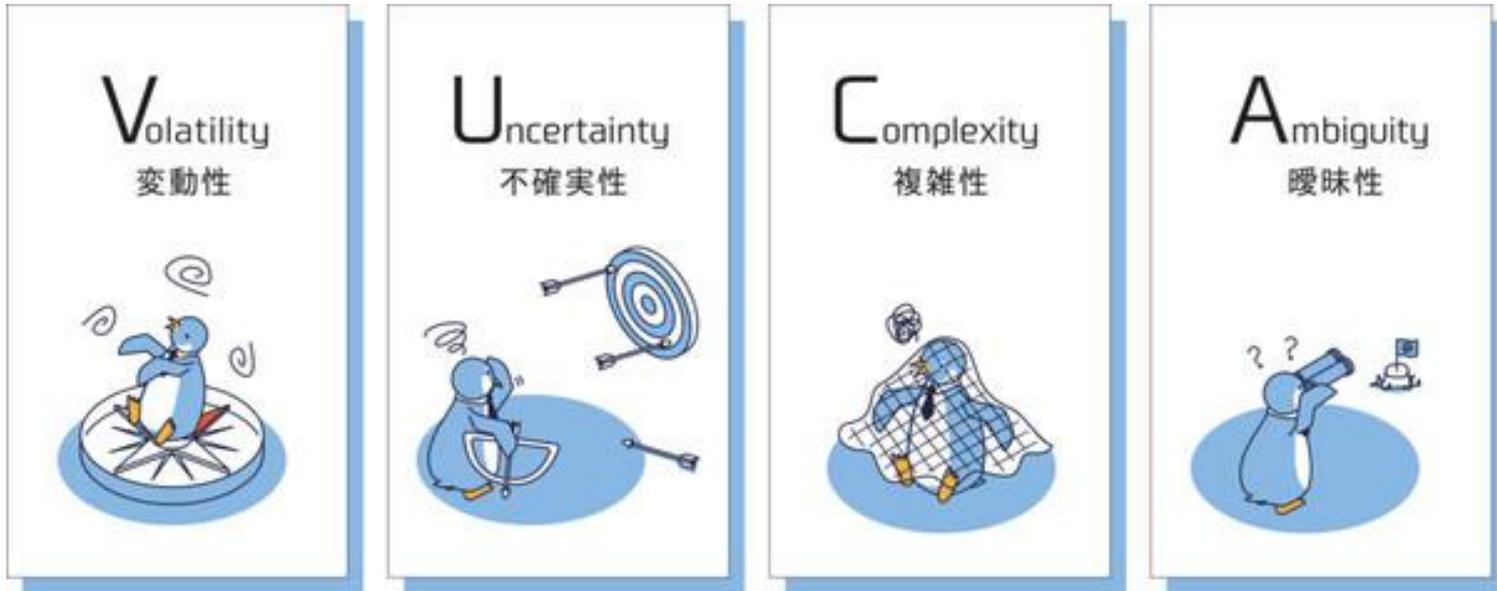
外来における感染対策

広島市医師会運営・安芸市民病院
感染管理特定認定看護師 島中延枝

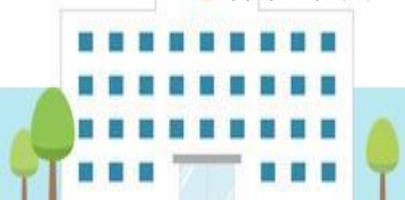


VUCA時代

先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態。
既存の価値観やビジネスモデルが通用しない時代。



- ・看護サービスの变化
- ・AIやテクノロジーの導入
- ・外国人職員
- ・診療報酬改定
- ・医療保険介護保険制度
- ・厚労省の方針転換
- ・患者や家族や社会との関係性
- ・職員の生活背景
- ・社会情勢による人間関係
- ・ハラスメントの基準
- ・断言できない治療説明



CONTENTS

- 01 感染対策の基本
- 感染経路の遮断 02
- 03 外来における感染対策
- Take home Message 04



1. St

感染対策の基本

感染経路の遮断

外来における感染対策

Take home Message

冬 = 感染症の流行に注意

冬に感染症が流行しやすい理由

- 冬の気温と湿度は、ウイルスにとって最適な環境



低温、低湿度な環境（温度16°C以下/湿度40%以下）は、ウイルスが長く生存できます

感染力が強い

- 冬は、免疫力が低下しやすい

冬の寒さ



外気の乾燥



体内水分量の減少



免疫力の低下

夏よりも積極的に水分を摂取しないため

感染成立の3要素

- 病原体

- 宿主

- 感染経路

感染対策の3つの柱

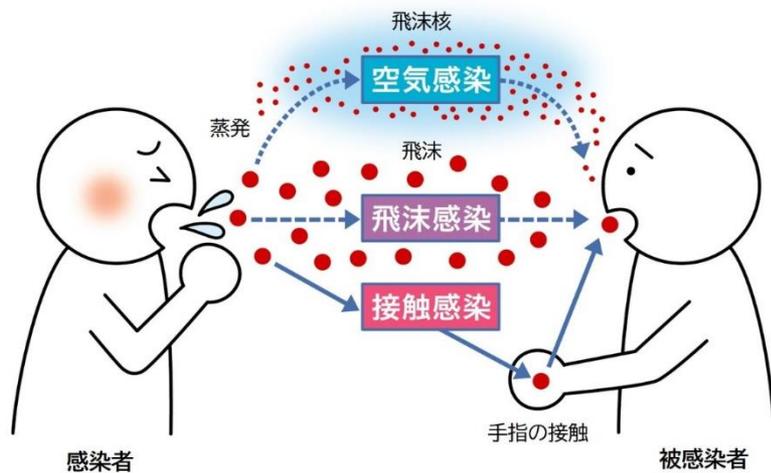
②免疫力の向上（宿主）



- ⓐ 日頃からの十分な栄養と睡眠
- ⓐ ワクチン接種

感染対策の3つの柱

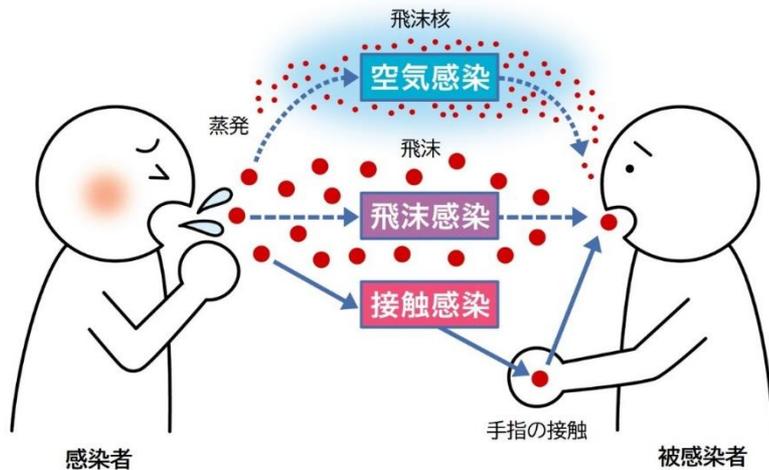
③ 感染経路の遮断



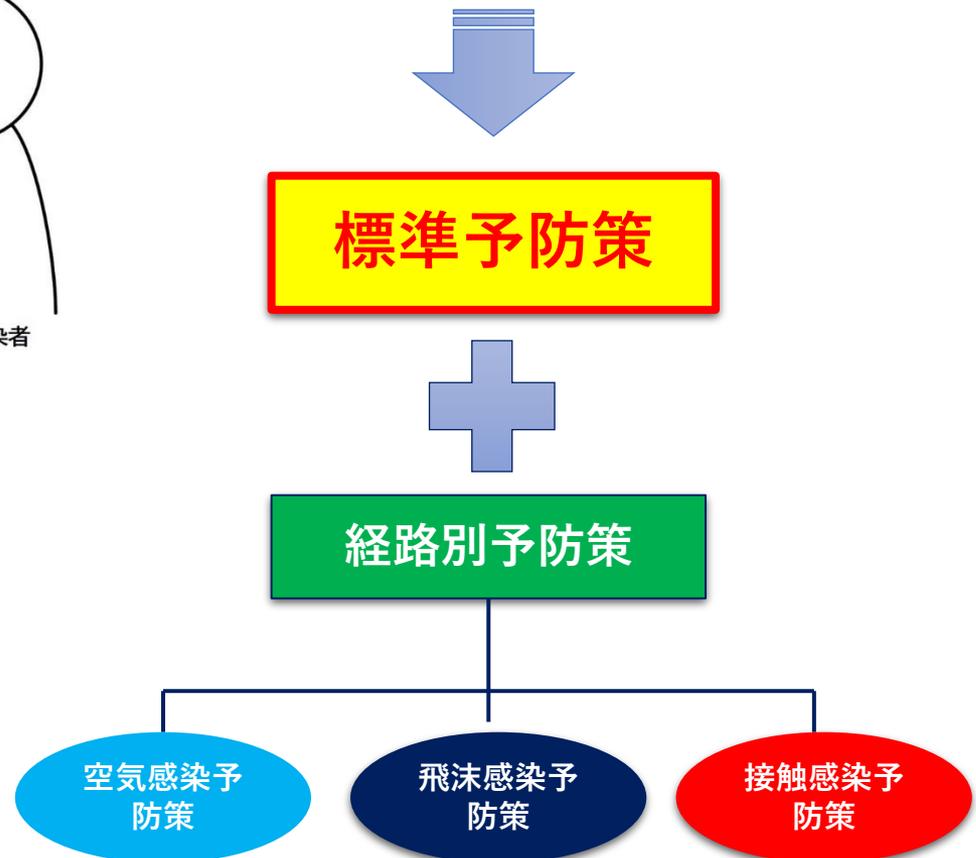
⚠ 病原体を拡げないために
適切に感染経路を遮断する

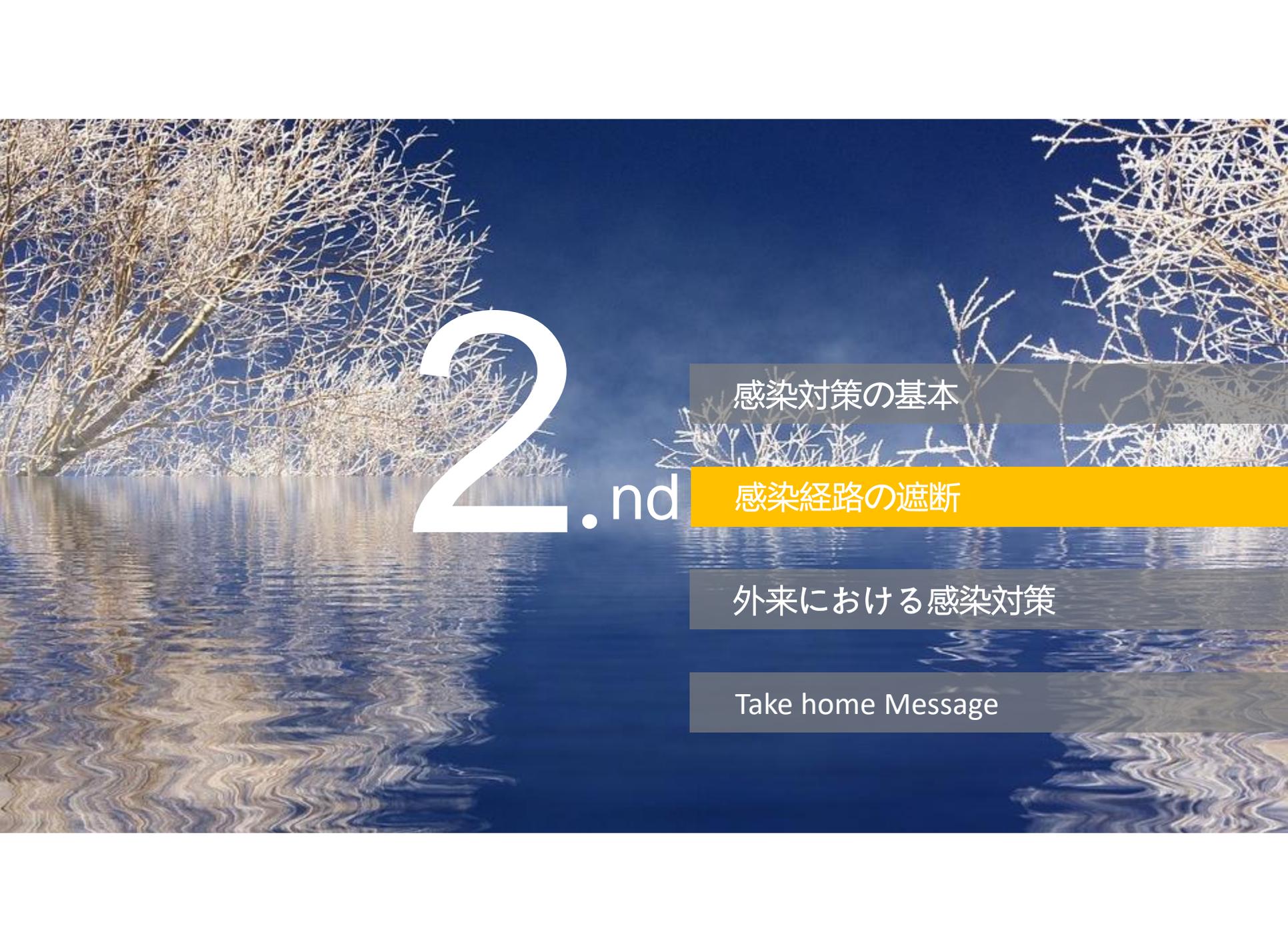
感染対策の3つの柱

③ 感染経路の遮断



⚠ 病原体を拡げないために
適切に感染経路を遮断する





2.nd

感染対策の基本

感染経路の遮断

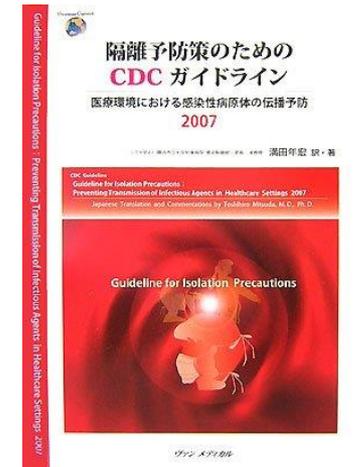
外来における感染対策

Take home Message

感染経路の遮断

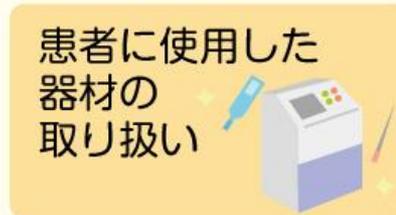
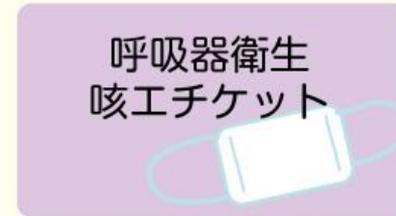
標準予防策

- すべての利用者の汗を除く ①血液、②体液（分泌物、排泄物）、③傷のある皮膚、④粘膜は**感染の可能性のあるものとして対応すること**。
- 利用者と従事者の**双方**における医療関連感染の危険性を減少させるために標準的に講じる感染対策である。



感染経路の遮断

標準予防策の10項目



感染経路の遮断

標準予防策の10項目

手指衛生

1. 手洗い (hand washing)

非抗菌石鹼と流水

2. 手指消毒

①手洗い消毒

消毒薬配合の手指消毒剤と流水

②擦式手指消毒

擦式アルコール消毒剤による消毒





手指衛生前と手指衛生後の手

手指
衛生
前

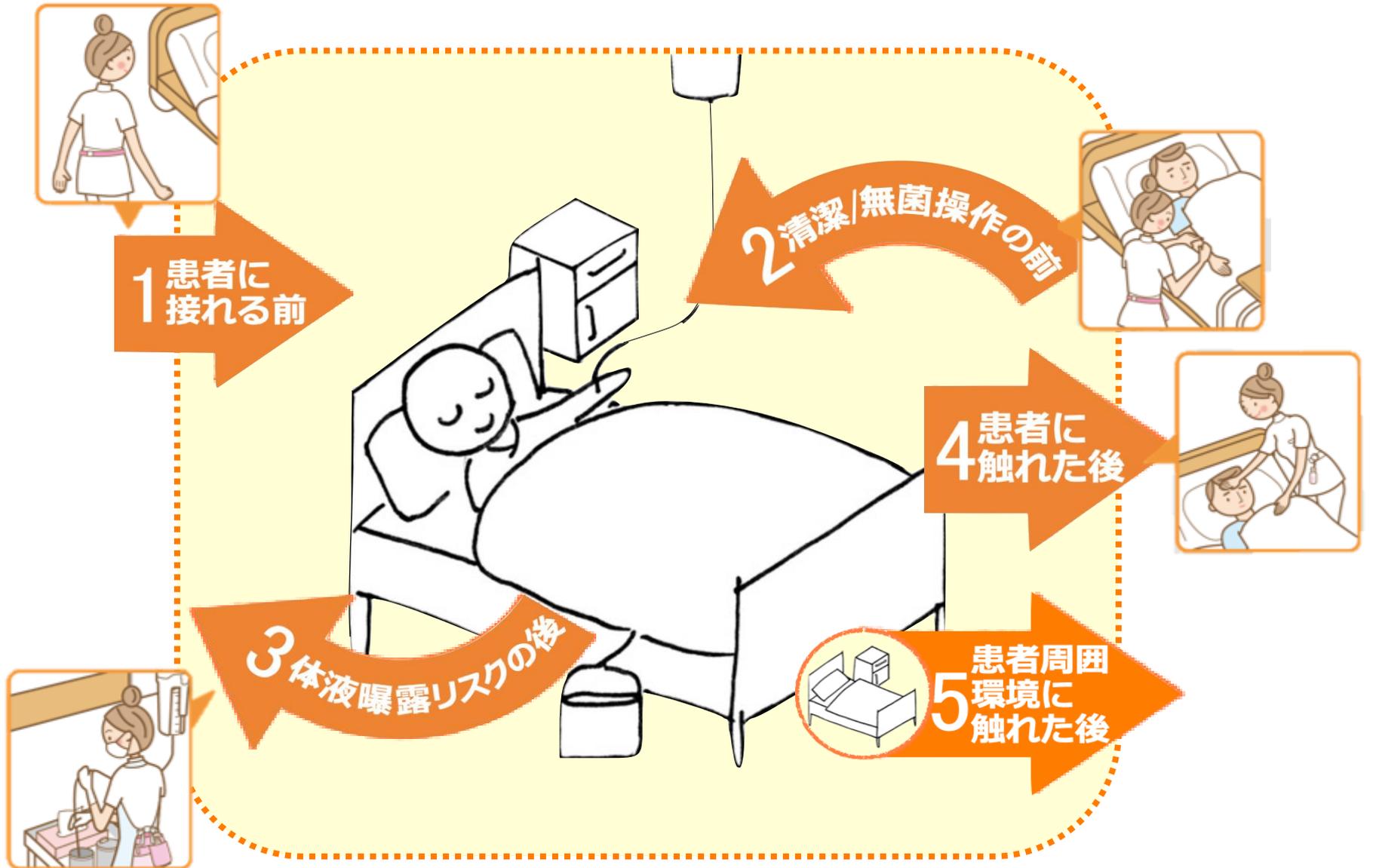


手指
衛生
後



擦式手指消毒薬での手指消毒前後の写真

WHO手指衛生の5つの瞬間



感染経路の遮断

標準予防策の10項目

個人防護具(Personal Protective Equipment : PPE)

従事者を微生物や有害物質の曝露から守り、微生物や有害物質の拡散を防ぐ



感染経路の遮断

標準予防策の10項目

個人防護具(Personal Protective Equipment : PPE)

● 適切な個人防護具の着脱

-  適切なPPEの選択し、着る
-  適切な順序・方法で脱ぐ
-  手指衛生を行う

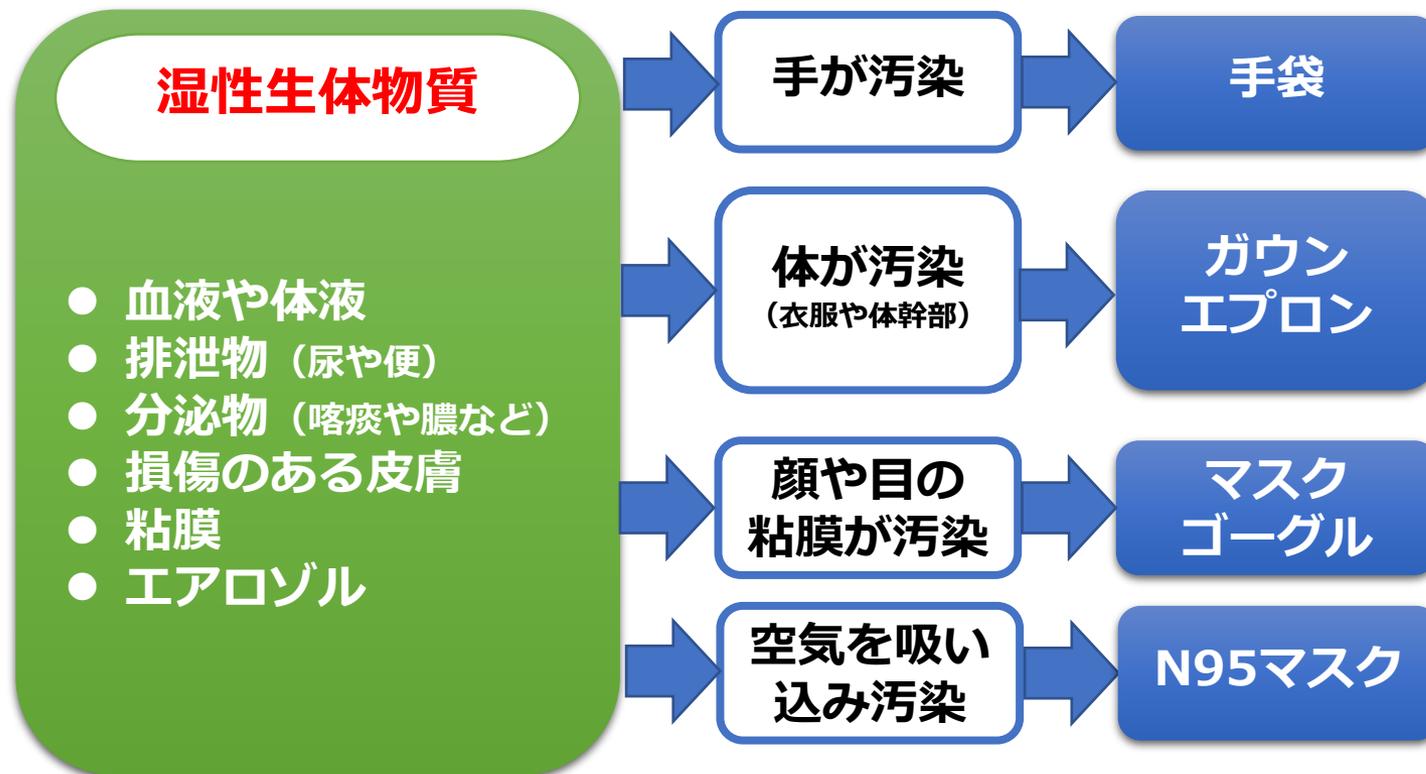
とくに**脱ぐときの汚染が感染リスク**
しっかりトレーニングを行う

感染経路の遮断

標準予防策の10項目

適切なPPEの選択

PPEを適切に使用することで、湿性生体物質による汚染から従事者を守り、患者や家族等を守り、感染を減少させることにつながります。



着ける時と
外す時では
順番は異なります。

感染経路の遮断

標準予防策の10項目

PPEを着ける順番

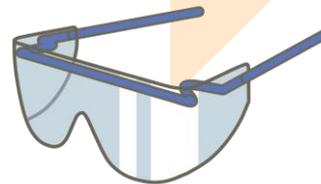
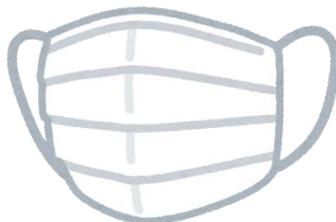
手指衛生

エプロン・
ガウン

マスク

ゴーグル

手袋



着ける時と
外す時では
順番は異なります。

感染経路の遮断

標準予防策の10項目

PPEをはずす順番

手袋

手指
衛生

エプロン・
ガウン

ゴーグル

マスク

手指
衛生



3rd

感染対策の基本

感染経路の遮断

外来における感染対策

Take home Message

通常診察時の感染対策

標準予防策を徹底する



流行時、医療従事者は、少なくともサージカルマスクを着用する。



患者との接触前後の手指衛生を確実に行う。



待合室における感染対策

- 感染症状がある患者（感染者、疑い含む）と感染症状がない患者（非感染者）の待機場所の分離や時間の分離をする
- 自家用車で来院している患者は車中で待機してもらう
- 換気を徹底する。
具体的には
 - ・窓を開ける
 - ・サーキュレーターの利用、
 - ・二酸化炭素モニターを設置

待合室における感染対策

POINT!

感染者と非感染者をわける

1. 空間的隔離
2. 時間的隔離
3. 物質的隔離
4. 化学的隔離

待合室における感染対策

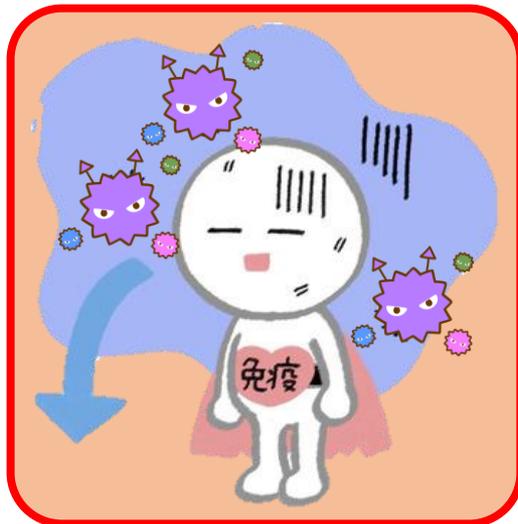
POINT!

感染者と非感染者をわける

1. 空間的隔離

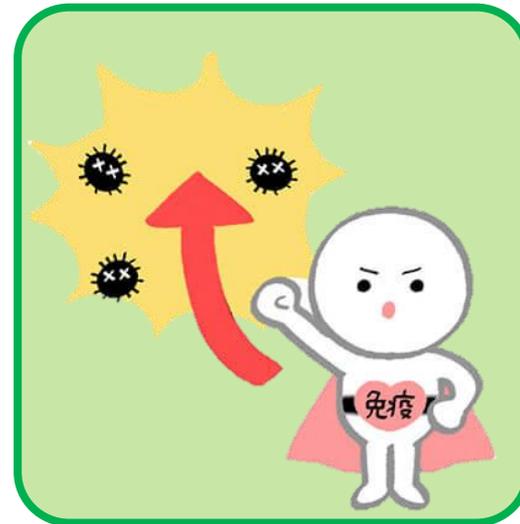
→ゾーニングを行う

レッドゾーン



感染者（疑いを含む）

グリーンゾーン



非感染者

待合室における感染対策

1. 空間的隔離

＜安芸市民病院の場合＞



待合室における感染対策

1. 空間的隔離

＜安芸市民病院の場合＞



待合室における感染対策

1. 空間的隔離

＜安芸市民病院の場合＞



待合室における感染対策

1. 空間的隔離

＜安芸市民病院の場合＞



待合室における感染対策

1. 空間的隔離

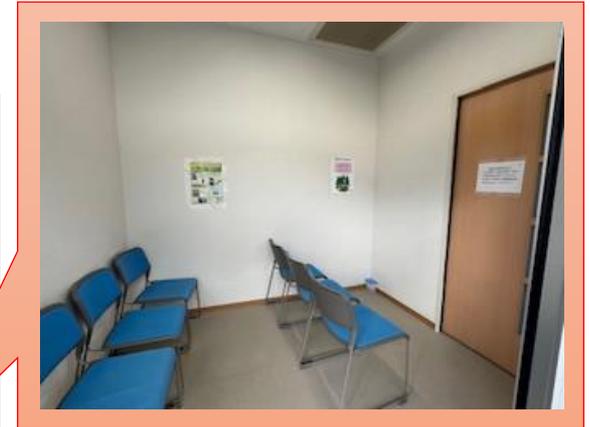
＜安芸市民病院の場合＞



待合室における感染対策

1. 空間的隔離

＜安芸市民病院の場合＞



待合室における感染対策

1. 空間的隔離

<安芸市民病院の場合>



待合室における感染対策

2. 時間的隔離

<例1>

【午前診察】

9:00~ 9:30 風邪症状なし限定
9:30~12:00 一般外来（どなたでも）

<例2>

【午前診察】

9:00~11:00 一般外来
11:00~12:00 発熱外来

待合室における感染対策

3. 物質的隔離

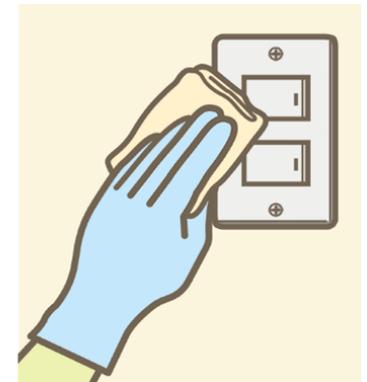
個人防護具(PPE:Personal Protective Equipment)を着用することで職員が感染しないようにまた、患者さま等の来院者みなさまに感染させないように感染防御を行う。



待合室における感染対策

4. 化学的隔離

- ★ 職員は患者さまごとに手指消毒を実施する
- ★ 環境消毒はドアノブ・手すり・椅子等の高頻度接触面を重点的、定期的に行う



診察・検体採取時の感染対策

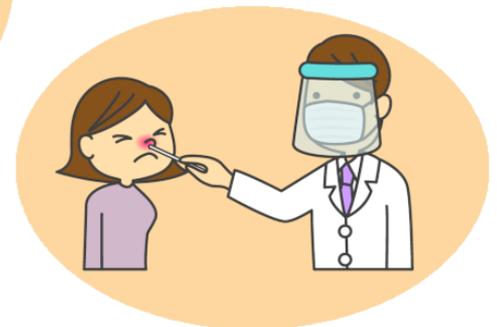
(1) 個人防護具(PPE: Personal Protective Equipment)の着脱

- 患者対応時にはサージカルマスクを常時装着し、飛沫曝露のリスクがある場合はアイシールドやフェイスシールド、ゴーグルを装着する。
- 患者の介助や処置に応じてPPEを選択する。
- 1対応ごとに手指消毒を徹底する。
- 手袋を使用する場合は、1対応毎に手袋を交換し手指消毒も徹底する。

診察・検体採取時の感染対策

(2) 検体採取の場所を工夫する

- 検体採取を屋外や駐車場（や車中）で行う（ただしプライバシーへの配慮は必要）。
- 唾液によるPCR検査・抗原定量検査や鼻かみ液によるインフルエンザ迅速抗原検査を活用することで飛沫やエアロゾルの発生を抑える。



トイレの感染対策

- トイレ内に手洗い設備が備えられている
- トイレの床は清掃しやすい構造である

病院内において、トイレは病原体により汚染しやすいため、その管理は重要である。便器表面だけでなくその周囲の物品や床、壁なども頻繁に清掃、消毒を行い清潔に保つ必要がある。

職員用と患者用トイレは別にすることが望ましい。

特にノロウイルスなど感染性胃腸炎の流行期に注意が必要である。



4.th

感染対策の基本

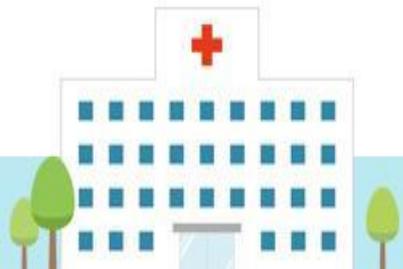
感染経路の遮断

外来における感染対策

Take home Message

Take home Message

- 感染対策の基本である標準予防策を徹底する
- 患者様と医療従事者双方の安全を守るため、PPEを適切に選択し、適切に脱衣を行う
- 流行情報や感染症に係る正しい知識を習得する
- 可能な感染対策の工夫をする



ご清聴
ありがとうございました
ございました

